

一般質問通告書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 25 年 8 月 23 日

議席番号 23 番

東村山市議会議長 様

質問者 佐藤 真和

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>自治体内の分権と住民参画機会の拡充で、小規模多機能自治へ</p>
	<p>1) 地域自治組織を主体とした自治体内分権について</p> <p>2022 年問題とも言われる「人口減少・超高齢社会」到来による危機は、地方よりも都市や都市近郊でより深刻度を増すと言われる。当市における 2020（平成 32）年時点での人口は 155,000 千人、65 歳以上人口は 41,700 人、割合は 26.9%と推計されている。実際には人口は既に微減に転じており、高齢の単身世帯及び高齢者だけの増加、地縁組織である自治会・町内会構成員の高齢化、担い手不足もさらに進むことが容易に想像される。</p> <p>今、市として様々なアプローチにより、市民の当事者意識の醸成、参画のきっかけ提供、新たな自治の担い手の掘り起こし等が図られていることは、時宜を得たものとする。協働・自治が実態として標準装備された自治体となるため、いくつかの点について問い、提案する。</p> <p>① 市民協働課の設置から 3 年。それにより様々なことが新たに見えてきたことと思う。市内の地縁組織や志縁組織とのつながりはどう広がり、深まってきたか。そこから見える課題とはどのようなもので、カギとなることは何だと考えられるか。</p> <p>② 市内は 13 町に分かれ、小学校 15 校、中学校 7 校。公民館、図書館、児童館は 5 館ずつ。高齢者を支える包括支援センターも 5 つ。ふれあいセンターも 5 館。子育て支援もエリアを 4 つから 5 つに今春から改められた。他にも憩いの家や集会所等の地域密着施設がある。しかし（それぞれに目的や対象が異なるので当然ではあるが）、分野間の壁は高く、縦割りを前提とした事業展開となっており、それぞれに大きなエネルギーを必要としている。</p> <p>区割り（単位）は何が適切なのかという難題はあると思うが、地域ごとに現在ある資源を活かしつつ、地域のことは地域で議論し、決めていく仕組み＝自治体内分権を進めることが、有効な方策なのではないかと考える。行政機関の位置づけの見直し、再編も含め、検討してはいかかがか。</p> <p>③ その際、異分野の住民同士のつなぎ役、地域のファシリテーター役が不可欠となる。市職員が地域担当として住民の中に飛び込み、根づき、新たな自治の仕組みづくりを進めることを提案したい。市長の見解を伺う。</p>

一般質問通告書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 25 年 8 月 23 日

議席番号 23 番

東村山市議会議長 様

質問者 佐藤 真和

記

番号	質問の項目と要旨
1	自治体内の分権と住民参画機会の拡充で、小規模多機能自治へ
	<p>2) 住民参画機会の拡充について</p> <p>① 各種審議会等の会議の市民委員を務める、務めた市民を増やすことは、市政への参画機会の拡大として直ちに行えることである。特に公募委員枠については、より有効かつ適正な運用が必要と思う。一人の方が複数務めたり、他の会議で委員を務めている方を別の会議の公募委員として選任するようなことはないか。また、同じ会議の公募委員と宛職としての委員を反復する等して長期にわたって委員を務めることもまた、他の市民の参画機会を損なう面があり、望ましくないと考える。実態と考え方を伺う。</p> <p>② 近年、計画策定の過程に多くの市民が関われるよう、募集人数を増やしたり、無作為抽出方式による機会拡大を図っていることは、自治への新たな可能性を開くものとして大いに評価したい。 しかしながら、PDCA 全てに関われるものでなければ、参加でなく参画としている姿勢が問われる。希望する市民は継続して市政の主体として関わりが持て、活動もできるために、「縁側」のような場が地域ごとにあれば、もっとハードルが低くなり、当事者意識も醸成されていくのではないかと。地域の拠点として公民館やふれあいセンターを積極的に利活用することを考えてはどうか。経営政策的な観点から見解を伺いたい。</p> <p>③ 即時性、双方向性を持った情報媒体（SNS）を活用することで、市民と役所の敷居を下げ、市民間の情報共有も加速させることができると考える。 たとえば、市内の施設や公園等の情報や、大きなイベントや行事、観光や産業の情報等々、市民が関心のあるテーマについて、タイムリーな情報発信と双方向でのコミュニケーションが継続されるよう、ぜひ踏み込んでいただきたい。市の所管だけで考えずに、市と協働を重ねている NPO 等の団体や詳しい市民の協力も大いに得ながら、トライできる分野はあるのではないかと。</p>

一般質問通告書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 25 年 8 月 23 日

議席番号 23 番

東村山市議会議長 様

質問者 佐藤 真和

番号	質問の項目と要旨																																																																																				
2	<p>またも強い疑念…秋水園焼却炉運転業務委託の入札結果を再び問う</p> <p>◆2006 年（平成 18 年）入札結果 予算額 1 億 3,702 万 5 千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 50%;">商号または名称</th> <th style="width: 25%;">入札金額（税込）</th> <th style="width: 20%;">市予算額対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>JFE 環境サービス(株)</td> <td>1 億 3,692 万円</td> <td style="text-align: center;">99.92%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>川重環境エンジニアリング(株)</td> <td>2 回目後に辞退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>クボタ環境サービス(株)</td> <td>2 回目後に辞退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>重環オペレーション株式会社</td> <td>1 回目後に辞退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>石川島播磨エンジニアリング(株)</td> <td>1 回目後に辞退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>日立造船(株)東京本社</td> <td>1 回目後に辞退</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆2012 年（平成 24 年）3 月 入札結果 予算額 1 億 4,416 万 7 千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 50%;">商号または名称</th> <th style="width: 25%;">入札金額（税込）</th> <th style="width: 20%;">市予算額対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>JFE 環境サービス(株)</td> <td>1 億 4,250 万 6 千円</td> <td style="text-align: center;">98.85%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>KEE 環境サービス(株) ※旧川重</td> <td>1 億 5,645 万 円</td> <td style="text-align: center;">108.52%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>日神サービス(株) ※日立造船 G</td> <td>1 億 6,800 万 円</td> <td style="text-align: center;">116.53%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>重環オペレーション(株)</td> <td style="text-align: center;">辞 退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>(株)IHI 環境エンジニアリング</td> <td style="text-align: center;">辞 退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>クボタ環境サービス(株)</td> <td style="text-align: center;">辞 退</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆2013 年（平成 25 年）3 月 入札結果 予算額 1 億 4,250 万 6 千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 50%;">商号または名称</th> <th style="width: 25%;">入札金額（税込）</th> <th style="width: 20%;">市予算額対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>JFE 環境サービス(株)</td> <td>1 億 4,238 万 円</td> <td style="text-align: center;">99.91%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>KEE 環境サービス(株)</td> <td>1 億 5,645 万 円</td> <td style="text-align: center;">109.98%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>日神サービス(株)</td> <td>1 億 6,590 万 円</td> <td style="text-align: center;">116.42%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>住重環境エンジニアリング(株)</td> <td style="text-align: center;">辞 退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>(株)IHI 環境エンジニアリング</td> <td style="text-align: center;">辞 退</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>クボタ環境サービス(株)</td> <td style="text-align: center;">辞 退</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	商号または名称	入札金額（税込）	市予算額対比	1	JFE 環境サービス(株)	1 億 3,692 万円	99.92%	2	川重環境エンジニアリング(株)	2 回目後に辞退		3	クボタ環境サービス(株)	2 回目後に辞退		4	重環オペレーション株式会社	1 回目後に辞退		5	石川島播磨エンジニアリング(株)	1 回目後に辞退		6	日立造船(株)東京本社	1 回目後に辞退		No.	商号または名称	入札金額（税込）	市予算額対比	1	JFE 環境サービス(株)	1 億 4,250 万 6 千円	98.85%	2	KEE 環境サービス(株) ※旧川重	1 億 5,645 万 円	108.52%	3	日神サービス(株) ※日立造船 G	1 億 6,800 万 円	116.53%	4	重環オペレーション(株)	辞 退		5	(株)IHI 環境エンジニアリング	辞 退		6	クボタ環境サービス(株)	辞 退		No.	商号または名称	入札金額（税込）	市予算額対比	1	JFE 環境サービス(株)	1 億 4,238 万 円	99.91%	2	KEE 環境サービス(株)	1 億 5,645 万 円	109.98%	3	日神サービス(株)	1 億 6,590 万 円	116.42%	4	住重環境エンジニアリング(株)	辞 退		5	(株)IHI 環境エンジニアリング	辞 退		6	クボタ環境サービス(株)	辞 退	
No.	商号または名称	入札金額（税込）	市予算額対比																																																																																		
1	JFE 環境サービス(株)	1 億 3,692 万円	99.92%																																																																																		
2	川重環境エンジニアリング(株)	2 回目後に辞退																																																																																			
3	クボタ環境サービス(株)	2 回目後に辞退																																																																																			
4	重環オペレーション株式会社	1 回目後に辞退																																																																																			
5	石川島播磨エンジニアリング(株)	1 回目後に辞退																																																																																			
6	日立造船(株)東京本社	1 回目後に辞退																																																																																			
No.	商号または名称	入札金額（税込）	市予算額対比																																																																																		
1	JFE 環境サービス(株)	1 億 4,250 万 6 千円	98.85%																																																																																		
2	KEE 環境サービス(株) ※旧川重	1 億 5,645 万 円	108.52%																																																																																		
3	日神サービス(株) ※日立造船 G	1 億 6,800 万 円	116.53%																																																																																		
4	重環オペレーション(株)	辞 退																																																																																			
5	(株)IHI 環境エンジニアリング	辞 退																																																																																			
6	クボタ環境サービス(株)	辞 退																																																																																			
No.	商号または名称	入札金額（税込）	市予算額対比																																																																																		
1	JFE 環境サービス(株)	1 億 4,238 万 円	99.91%																																																																																		
2	KEE 環境サービス(株)	1 億 5,645 万 円	109.98%																																																																																		
3	日神サービス(株)	1 億 6,590 万 円	116.42%																																																																																		
4	住重環境エンジニアリング(株)	辞 退																																																																																			
5	(株)IHI 環境エンジニアリング	辞 退																																																																																			
6	クボタ環境サービス(株)	辞 退																																																																																			

一般質問通告書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 25 年 8 月 23 日

議席番号 23 番

東村山市議会議長 様

質問者 佐藤 真和

番号	質問の項目と要旨
2	<p>またも強い疑念…秋水園焼却炉運転業務委託の入札結果を再び問う</p>
	<p>1. 本年 3 月の入札について、入札に至るまでの経過の説明と、結果に対する見解を求める。</p> <p>2. 昨年 3 月の入札結果を踏まえ、私は昨年 6 月議会の一般質問でその疑義を取り上げた。解消されなかった疑義、指摘に対し、今年 3 月の入札までの間に、どのような検討が加えられ、対応が取られたのか。</p> <p>3. 入札・契約所管である総務部長からは、「予算書により予算額を知ることは可能だが、予定価格は把握できないと認識している」と昨年答弁があった。 また、委託事業の予定価格を公表することについては「類推されることと業者の積算意欲」から行わない旨も答弁された。 過去 3 回の JFE の落札金額の予算金額に対する割合は、99.92%、98.85%、99.91%であり、予定価格が予算書に示された同事業の予算金額はほぼ同一であることは誰もが容易に類推できる。 また、過去 3 回の入札において 6 社ずつ指名した業者は実質的には 7 社に過ぎず、3 回とも指名された業者のうち、石川島播磨系は 3 回とも辞退、クボタは 2 回辞退。2 回連続辞退だった三菱系を住友系に入れ替えても辞退。川崎重工系と日立造船系は 2 回連続で落札不可能だと承知の上で入札に参加の怪。 川崎重工系 (KEE) に至っては、2 年続けて全く同じ入札金額で失格となっている。市は現在でも「業者自身が積算し、受注可能な額として入札を行ったところ、予定価格を上回ったものと認識しており、辞退ではないことから、受注の意思はあったものと考えて (※昨年答弁)」いるのか。</p> <p>4. 「正直に言うと、安定的、継続的に事業を実施するという立場からすると、随意契約を望んでいたが…問題を起こした業者だけで随契するというのはどうなのかという指摘も理事者があり、入札を実施した」という当業務所管の意向も昨年答弁されている。 業者間の事情と市所管の意向を汲んだ形で「形だけの入札」が重ねて行われている、と断じざるを得ないのではないかと。本件に関する調査も含め、疑義を払拭するための対処を求め、市長の見解を求める。</p>